

一般質問通告書

受領日時 令和 7年 8月20日 午前10時00分

7番 氏名 石川 重光

質問項目	質問の要旨
1 カラス対策は進んでいるか	(1) 本町部において、メインストリートであるバスターミナル前の県道秋田八郎潟線や役場前の国道285号線、路線沿いの歩道などにカラスによる糞被害が依然として続いている。 鳥が原因と考えられる病気の衛生・健康被害や建物や道路等がカラスの糞で汚れるといった生活被害、生活空間の景観・美観を損ねるといった景観被害に対する対策は進んでいるか。 (2) 鳥害の直接的な被害は、建物や歩道、車道、車の汚れの他、悪臭は歩行者の通行の妨げにもなっている。電線や街路樹のある道路路面は汚れ、景観を損なっている。生活被害や景観被害、健康被害への対策の一つとして電線の鳥よけ対策を、関係団体(東北電力やNTT)との連携で進んでいるか。
2 農地の有効利用について	(1) 本町農業において、農家数の減少や農業従事者の高齢化・担い手や労働力不足などの課題が挙げられる。このことから自己保全管理面積(不作付)が拡大し、農地が適切に利用されなくなり、荒廃農地面積は高齢化の一層の進行で拡大することが懸念される。 本町の荒廃農地面積(再生可能農地面積と再生困難農地面積)はどのように推移し、現状はどうなっているのか。また、将来の想定される数値は。 (2) 町では、農作業の受委託や法人経営による農地の利用保全に努めているが、受託者や法人構成員の高齢化も進んでいる。今後、労働力不足により不耕作農地が増加し、再生利用が見込めない荒廃農地が増加するのではないかと不安を抱える農家の方も少なからずいる。 荒廃農地面積の拡大に対する対策として、町の施策をどのように進めていくのか。